吹元パノラマプロッタ

マリン事業本部 設計部 設計 ippo

KOĐEN
目次

1. 特長
2. 次元地図の表示方法
3. デモ映像
海図では理解しにくい海底地形の起伏を、実際の海底を見ているかのように、直感的に把握することができる。

＜従来のプロッタ＞

＜SDP-300＞
表示画面の種類

本機には 6 種類の画面が用意されています。

・ 2次元画面
・ 3次元画面
・ 2次元画面 3次元画面
・ 断面図 2次元画面
・ 断面図 3次元画面
次元画面をヘッドアップにすれば、進路方向が常に画面上部になるよう地図が回転

表示範囲

GPS

35° 07.726 N
139° 36.300 E
進路 000.0 速度 0.0 kt
断面図画面

進路方向の海底地形を断面図で表示

＜断面図 2次元画面＞  ＜断面図 3次元画面＞
海の色を濃淡表示

進路方向が深くなるのか、浅くなるのか直感的に把握できる。

水深による色分けや、独自の色を作成することも可能。
次元地図の表示方法

視点の高さ（高度）、見下ろす角度（俯角）、視野角により、表示される範囲が決まる。特に、高度と俯角は表示する範囲前方を決定する重要な要素。

視点・・・自船後方
高度・・・海面からの高さ
俯角・・・視点から見下ろす角度
高度、俯角、視野角

・高度の設定で行なう目的

遠方の地形を確認したい場合　・高く
自船付近の地形を確認したい場合　・低く

・俯角の設定で行なう目的

自船直下の地形を確認したい場合　・大きく
前方の地形を確認したい場合　・小さく

・視野角の設定で行なう目的

広範囲の地形を確認したい場合　・大きく
一部分の地形を確認したい場合　・小さく
高度を変更する
俯角を変更する
デモ映像
御清聴ありがとうございました